

## 序 文

公共訓練施設における向上訓練は、昭和46年から実施され、この17年間の間に大きく発展してきた。今日、向上訓練に期待される独自の役割と機能を明らかにすることは、わが国の職業能力開発の上で重要な意味を持っている。

この向上訓練の持つ重要な機能に“とらえなおし”の教育機能がある。この“とらえなおし”の機能とは、現場覚えの技能に、理論的な裏づけを与えたり、我流を修正したりすることによって、OJTで自らの職業能力を身につけてきた労働者に自分の職業能力を見直させ、次の飛躍的な能力向上のステップを与えるという教育機能であり、向上訓練のOffJTならではの特徴を表すものである。最近、企業では、従業員の「問題解決能力」や、「創造性」などの育成が強く望まれているが、“とらえなおし”の教育機能はまさにこの要望に応えるものであり、これからの向上訓練において、ますます重要な意味を持ってくるであろう。この“とらえなおし”の教育機能は、向上訓練研究の大きな課題である。

本報告は、この“とらえなおしの教育”の実践例として、昭和59年より、埼玉技能開発センターで実施されている“CO<sub>2</sub>半自動溶接技能クリニックコース”をとりあげ、その機能アップのための改善を試みている。この改善のポイントは、コースの中に受講者が自らを診断する場面を設定することによって、“とらえなおし”をより充実させようとするものである。さらに、本研究では、“とらえなおし”の教育機能について、新たな研究視点をも提起している。

本報告が、向上訓練の推進に少しでもお役に立ち、向上訓練の先生方から御助言をいただければ、研究担当者にとって無上の励みになると思います。

昭和63年3月

職業訓練研究センター

所長 多賀谷 敏夫

## 参考文献

- 1) 戸田勝也・神田茂雄 『技能診断にもとづく溶接技能者の技術力の向上について』 1984
- 2) 戸田勝也 『公共向上訓練に対する中小企業からの期待に関する一考察』 1984
- 3) 前掲書
- 4) 小原哲郎 『向上訓練と技能の基礎』 1985
- 5) 戸田勝也・下山敏一 『向上訓練修了者調査にもとづくカリキュラム評価』 1985
- 6) 下山敏一・戸田勝也 『“半自動溶接技能クリニック” のコース開発及び訓練実施結果に関する研究』 1986

訓 研 調 査 研 究 資 料 第88号

CO<sub>2</sub>半自動溶接技能クリニックコース  
改善に関する一考察

発 行 1988年3月

発行者 職業訓練研究センター  
所長 多賀谷 敏 夫  
〒229 神奈川県相模原市相原1960  
電話 0427-61-9911 (代)

印 刷 (株)相模プリント  
相模原市東橋本1-14-17  
電話 0427-72-1275